



突然の降雪に備えておきましょう！

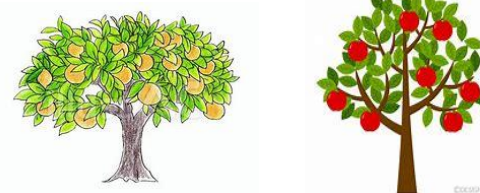
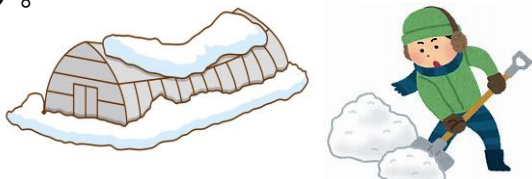
～ナシなど果樹、レタス、ハクサイなど露地野菜編

県内でも冬季には突然の降雪が発生して、農作物に被害を生じることがあります。気象予報は急変することがありますので、こまめに気象情報を収集し、事前に降雪による農作物への被害を軽減させる対策に努めてください。

なお、被害が発生してしまった場合には、その程度に応じた対策を図ってください。被害が比較的軽くても、生育への影響、病害の発生などが懸念されますので、下記を参考に対策を行って下さい。

また、詳細は「[茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル\(令和5年9月改定\)](http://pref.ibaraki.jp)」について/茨城県 (pref.ibaraki.jp) を参照してください。

果 樹



事前準備

(右チェックシート参照)

- 1) 多目的防災網、防鳥網の網収納や雨除け施設の被覆フィルムの除去が済んでいない場合、速やかに収納、除去する。
- 2) 立ち木栽培等で積雪による骨格枝の折損、果樹棚の倒壊が想定される場合、支柱などを設置して補強する。

降雪時の対策

- 1) 安全が確保できる範囲で、樹園地を見回り、除雪を行う。園芸用ハウスを使用している場合は、ハウス内の温度を高め、積雪の自然滑落を促進するほか、ハウスの屋根の補強材や支柱等を設置する。
- 2) 安全が確保できる範囲で、屋根の雪下ろしやハウス周辺の除雪を行う。ハウスの破損、倒壊等が生じた場合には、安全に留意しつつ、早急に修復を行いハウス内の温度確保を図る。

降雪後の対策

- 1) 積雪が多かった場合、数日間の晴天が見込まれる時期を見計らい、融雪剤を散布する。
- 2) 安全の確保に留意しつつ、樹園地を見回り被害状況を確認し、樹体の損傷の程度に応じて、ボルト等を使って損傷部の癒合や、改植を検討する。
- 3) 損傷した樹体は病虫害の被害を受けやすいので、発生動向に十分注意し、適切な防除対策を行う。

(2) 大雪被害を防止するためのチェックシート

【降雪前に行っておく項目】

項目	チェック欄	チェック項目(点検のポイント)
情報収集	1	最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしているか？
	2	暖房機の燃油残量は十分にあるか？
融雪準備	3	暖房機は正常に作動するか？
	4	ブレースや筋交いの留め金具に緩みがないか？
補強対策・雪の滑落促進	5	基礎部、接続部分、谷樋・柱に腐食・サビはないか？
	6	谷樋や排水路、ハウスの際等の残雪やゴミはないか？
	7	準備していた中柱をたてる等の応急的な補強はしたか？
	8	被覆材の表面に雪の滑落を妨げるような突出物はないか？
	9	雪の滑落を妨げる防風ネットや外部遮光資材等が展張されていないか？

(日本施設園芸協会資料より)

茨城県農業用ハウス災害被害防止マニュアル(p45)より

露 地 野 菜

(レタス、ハクサイ、キャベツ、ネギ、ホウレンソウなど)



冬春用の栽培品種は、耐寒性が強い傾向ですが、結球期に低温遭遇すると、凍結の被害を生じる場合があります。

降雪後の対策

- 1) トンネル栽培では、早期に除雪を行ない、ビニールが破れた場合でも、栽培が継続可能な場合には、早急に破損個所の修復を行う。レタスは形状の乱れにつながるため、作物の生育に応じた換気を速やかに行う。
- 2) 融雪水の排水に努め、根傷みなどで草勢が低下しないよう、必要に応じて液肥の散布を行う(営農News 第3101号参照)。また、損傷した茎葉から病害の発生が懸念されるので薬剤散布を行う。
- 3) 生育初期の作物が被害を受けた場合は、予備苗による植え替えや再播種などを検討する。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農NewsはJA全農いばらきホームページでもご覧になれます。